

工事店様用

全量買取向け

ZMPMCD エコめがね

モバイルパックマルチコネクト

<パワコン接続タイプ>

[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

パワーコンディショナー-SV センサ間 通信ケーブル加工マニュアル

ダイヤゼブラ電機（旧：田淵電機）製 パワーコンディショナー用

Ver1.5

SV センサ設定ツール 設定内容	
<PCS メーカー>	ダイヤゼブラ電機（旧：田淵電機）（産業用）
<PCS 型式>	「EPU-B-T99P-SA/SB、EPU-E-T99P-SF、EPU-T99P5-SFL」
対応型式：	EPU-B-T99P-SB
EPU-B-T99P-SA	EPU-E-T99P-SF
	EPU-T99P5-SFL

注意事項

パワーコンディショナについての詳細な手順は、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従ってください。なお、改訂などによりメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルの内容に変更が生じた場合など、本マニュアルの内容と異なる場合は、パワーコンディショナメーカー側の内容に従って施工してください。

通信ケーブルは、施工者様の責任において作成くださいますようお願いいたします。

誤った方法で施工した場合に、モバイルパック、パワーコンディショナ、その他周辺機器の故障などの異常が生じましても、当社はいっさいの責任を負いかねます。

1. 目的

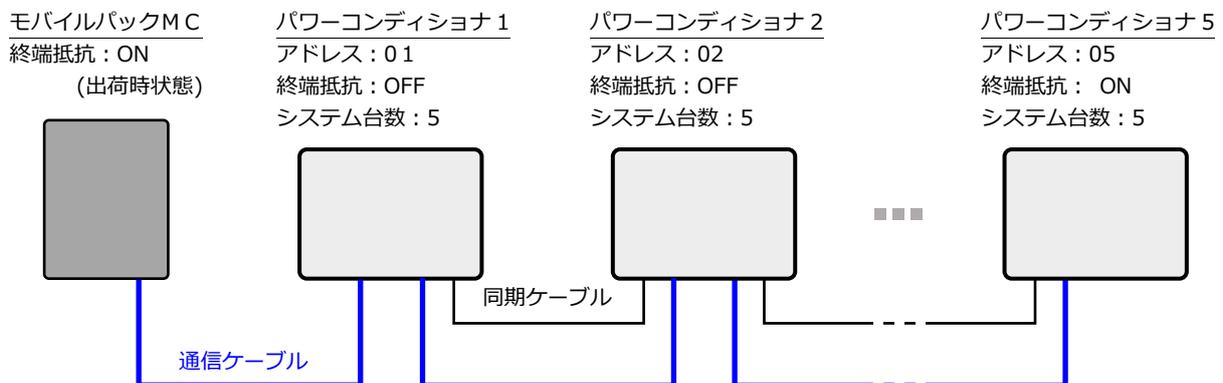
エコめがねモバイルパックマルチコネクタ（以下 モバイルパックMC）をご利用いただくにあたって、「パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル」の作成・施工手順を記載しています。

2. システム構成

以下に、パワーコンディショナ 5 台接続のシステム構成例を記載します。

※型式によって接続可能台数が異なります。詳しくは当社 HP をご確認ください。

https://partner.eco-megane.jp/mc_pcs.html



3. パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブルの作成

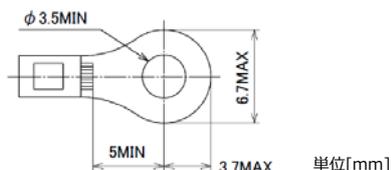
3-1. 準備部材・工具

パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル作成に必要な部材、工具を以下に記載します。

●部材 (パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル 1 本あたり)

部材名	サイズ・規格	数量
丸型圧着端子 (絶縁スリーブ付)	穴径 M3.5 [※]	6 個
シールド付きツイストペアケーブル	最大電線径 2.0 mm ² 選択例： KPEV-S 1.25 mm ² - 2P	1 本
絶縁テープ	-	任意の長さ

※丸型圧着端子 適合サイズ (モバイルパック MC 通信線端子台側)



<参考> パワーコンディショナ間 通信ケーブル・同期ケーブルの部材について

複数のパワーコンディショナ間を接続する通信ケーブルと同期ケーブルについて、必要な部材を以下に記載します。パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルを確認の上、市販品を入手・加工してください。

用途	部材名	サイズ・規格	数量
通信ケーブル	シールド付きツイストペアケーブル	市販品	(PCS 台数 - 1) 本
	丸型圧着端子 (絶縁スリーブ付)	市販品	ケーブル 1 本あたり 6 個
同期ケーブル	シールド付きツイストペアケーブル	市販品	(PCS 台数 - 1) 本
	丸型圧着端子 (絶縁スリーブ付)	市販品	ケーブル 1 本あたり 4 個

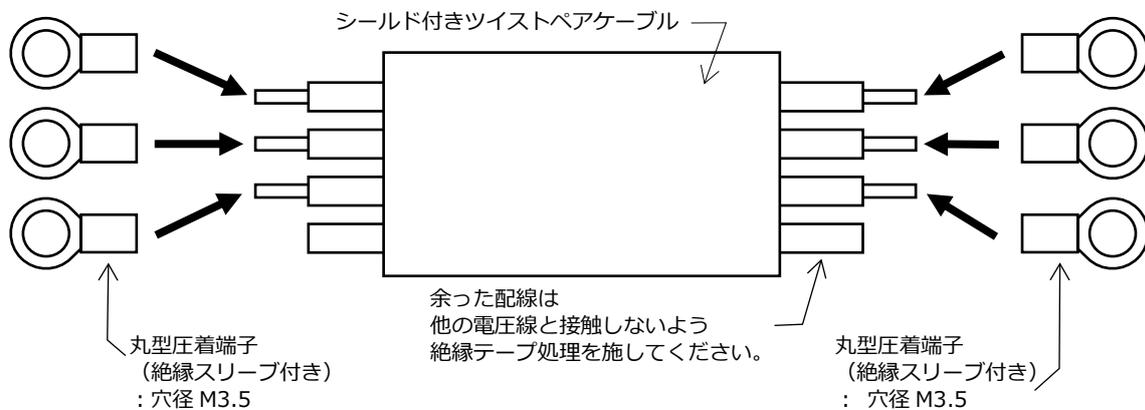
●工具

工具名	サイズ・規格	個数
ニッパー	-	1
ペンチ	-	1
プラスドライバー	-	1
トルクドライバー	-	1
圧着工具	圧着端子サイズに適合するもの	1

3-2. パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブルの加工

● ケーブル加工方法

パワーコンディショナ - SV センサ間の距離に応じた長さのシールド付きツイストペアケーブルを用意し、信号線およびシールド線の端に、丸端子を圧着してください。

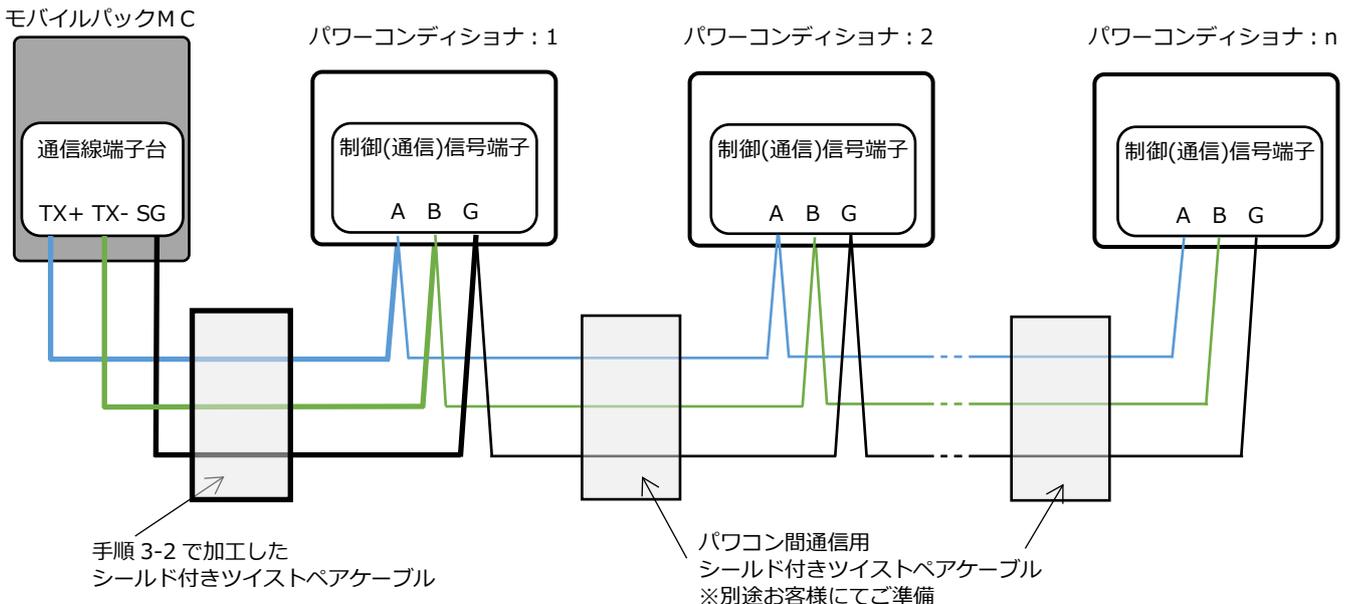


4. 通信ケーブルの取付け方法

<注意> 機器が運転停止している状態、すべての入力スイッチやブレーカが「OFF」になっている状態で作業を開始してください。

手順 3-2 で加工したケーブルで、モバイルパックMCの通信線端子台とパワーコンディショナの制御(通信)信号端子の間を接続してください。また、パワーコンディショナ間の通信ケーブルについては、別途パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアル等をご確認の上、接続してください。

●ケーブル取付け全体図



※通信ケーブルは電力線と離して敷設することをお勧めいたします。

●パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル取付け部分図

モバイルパックMC通信端子台

締付トルク：0.8～1.4N・m

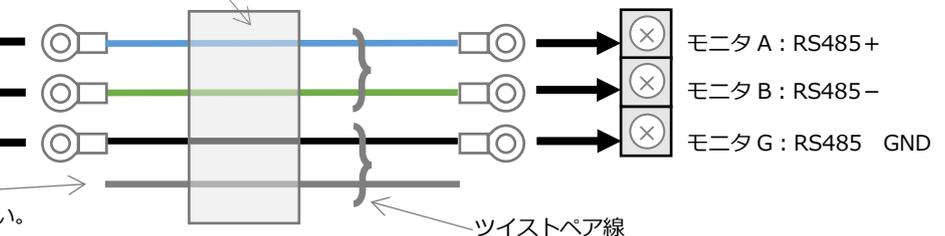


シールド付きツイストペアケーブル

パワーコンディショナ
制御(通信)信号端子

締付トルク：1.0～1.3N・m

余った配線は
他の電圧線と接触しないよう
絶縁テープ処理を施してください。



※通信ケーブルは電力線と離して敷設することをお勧めいたします。

●結線対応表

モバイルパックMC 通信端子台	パワーコンディショナ 制御(通信)信号端子	
信号名	端子記号	信号名
TX+	モニタA	RS485 +
TX-	モニタB	RS485 -
SG	モニタG	RS485 GND

5. その他

5-1. 終端抵抗の設定

複数のパワーコンディショナを設置する場合は、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従い、パワーコンディショナ間を同期ケーブルで接続してください。

5-2. 終端抵抗の設定

接続パターンにより、SVセンサおよびパワーコンディショナの終端抵抗を設定してください。

**<注意> 出荷状態では、SVセンサの終端抵抗はON状態で設定されています。
パターンAでご使用される場合は、SVセンサの終端抵抗の設定は不要です。**

【パターン A（推奨）】モバイルパック MC が通信経路上の終端に設置されている場合

・モバイルパック MC :

SVセンサの終端抵抗設定を有効（DIP-SW2 No.1 を ON）に設定してください。

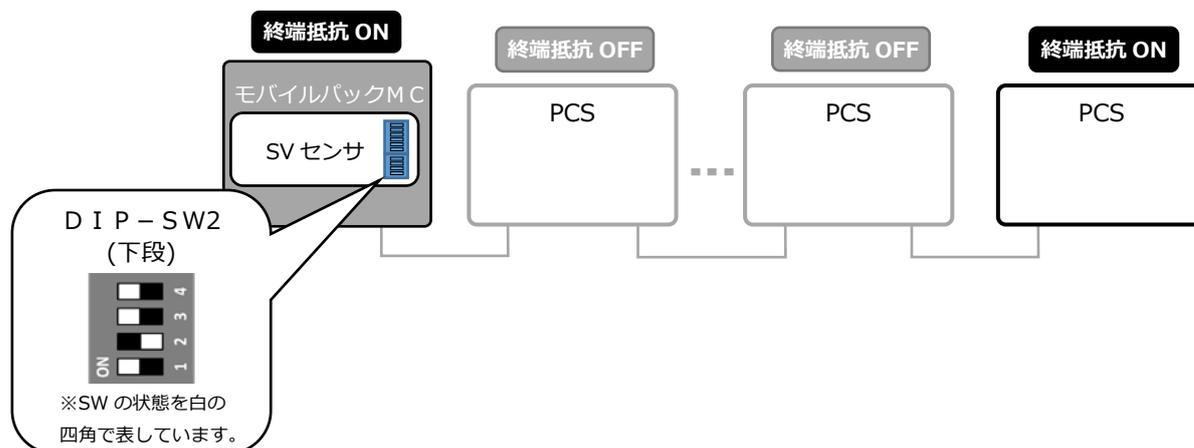
・パワーコンディショナ :

終端にある 1 つのパワーコンディショナの操作パネルの終端抵抗設定スイッチを「入(ON)」にしてください。

通信経路の間にある他のパワーコンディショナの操作パネルの終端抵抗設定スイッチを「切(OFF)」にしてください。

設定方法の詳細については、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルを参照してください。

終端抵抗の設定（パターン A の場合）



【パターン B】 モバイルパック MC が通信経路上の終端に設置されていない場合

・モバイルパック MC :

SV センサの終端抵抗設定を無効 (DIP-SW2 No.1 を OFF) に設定してください。

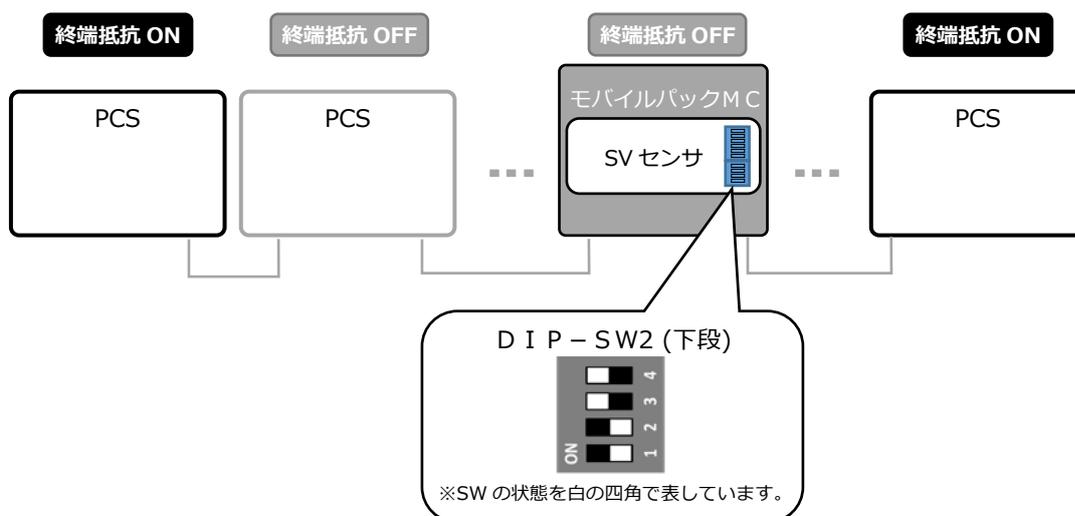
・パワーコンディショナ :

終端にある 2 台のパワーコンディショナの操作パネルの終端抵抗設定スイッチを「入(ON)」にしてください。

通信経路の間にあるパワーコンディショナの操作パネルの終端抵抗設定スイッチを「切(OFF)」にしてください。

設定方法の詳細については、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルを参照してください。

終端抵抗の設定 (パターン B の場合)



5-3. アドレス(局番)の設定

パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従い、パワーコンディショナのアドレス(局番)を設定してください。

※ 機器ID(局番)は01~09の範囲で設定してください。

<注意> アドレス (局番) 「01」 の設定は、必ず同期信号入力端子に同期ケーブルの接続が無いパワーコンディショナに対して行ってください。

5-4. システム台数の設定

パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従い、パワーコンディショナのシステム台数を設定してください。

(例) モバイルパックMCにパワーコンディショナを5台接続する場合、各パワーコンディショナのシステム台数の設定はそれぞれ「5」となります。

販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2丁目6番18号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

050-3185-6842

受付時間

10:00 ~ 17:30

※年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。